

第 36 回 電磁界情報センター運営委員会 議事録（案）

1. 日 時：2025 年 9 月 19 日（水） 15:00 ～ 17:10
2. 場 所：電磁界情報センター3 階会議室およびオンライン会議（Zoom）
3. 出席者：木下委員長※、原副委員長、小島委員、衛藤委員、緒方委員、飛田委員
安達委員、木村委員 ※Zoom 参加
〔事務局〕一般財団法人 電気安全環境研究所 江連専務理事
電磁界情報センター 大久保センター所長
4. 議事次第：
 - （1）定足数の確認報告
 - （2）【審議】第 35 回電磁界情報センター運営委員会 議事録（案）の承認について
 - （3）【報告】2024 年度 決算について
 - （4）【審議】2025 年度 業務実施状況について

5. 配布資料：

・運営 36-1	運営委員会 委員名簿
・運営 36-2	第 35 回電磁界情報センター運営委員会 議事録（案）
・運営 36-3	2024 年度 決算
・運営 36-4	2025 年度 業務実施状況
・参考	電磁界情報センター運営委員会規定

6. 議事内容：

（1）定足数の確認報告

電磁界情報センター運営委員会規程第 5 条第 2 項に基づき、運営委員 8 名中、出席の委員が 8 名であることから、第 36 回運営委員会は成立した。

（2）江連専務理事挨拶

本日はお忙しい中、運営委員会にお集まりいただき御礼申し上げます。本来であれば、理事長の中村が挨拶すべきところだが、所用により欠席のため、代わりに私江連より挨拶させていただく。

皆様もご存じのとおり、電磁界情報センターは電磁波の健康影響に関する国内外の情報を収集し、提供する活動を行っている。こうした過去 17 年に亘る地道な取り組みが国内外から高い評価を得ている状況にあるのも、運営委員会の皆様のご尽力の賜物であると深く感謝申し上げます。また、一般の方々からの問い合わせ件数は昨年引き続き、増加傾向を示しており、電磁界の健康影響に対する関心の高さを実感している。このような状況に対応するため、ユーチューブを活用した情報発信の取り組みといっ

た新たな取り組みを進めている。

本日は、2024 年度の決算および業務実施状況をご報告させていただく。忌憚のないご意見、ご指導をよろしくお願いする。

(3) 木下委員長挨拶

本来であれば、対面で話をする予定であったが、都合により自宅からリモートで参加させていただくこととした。今回で 17 年目の参加となる。世の中未だ大変なことが続いているが、皆さんの一層のご活躍とご健康をお祈りしてご挨拶に代えさせていただく。

(4) 第 35 回電磁界情報センター運営委員会議事録（案）の承認について

【審議結果】第 35 回電磁界情報センター運営委員会議事録（案）は了承された。

(5) 2024 年度決算について＜報告＞

・事務局より資料 運営 36-3 に基づき 2024 年度決算について説明された。主な質疑は以下のとおり。

【質疑】

〔委員〕 電磁界講演会の費用について、資料を電子化することでランチョンセミナーの教材費の削減を図ったということだが、費用自体は増となっているのはなぜか。

〔事務局〕 印刷を減らしてコスト削減したが、ランチョンセミナーの共催費が値上値上がり結果として増額となった。

〔委員〕 回数が増えたのではなく、ランチョンセミナーの単価が上がったということか。

〔事務局〕 その通りである。予算時には過去の実績ベースで算定するが、単価上昇により、予算をオーバーしてしまった。なるべく費用を下げるため、資料を電子化し、QR コードを読み込むことで資料を閲覧できるようにするなど取り組んでいる。

(6) 2025 年度業務実施状況について＜審議＞

・事務局より資料 運営 36-4 に基づき 2025 年度業務実施状況が説明された。主な質疑は以下のとおり。

＜磁界測定プロジェクト（鉄道から発生する磁界の調査）＞

〔委員〕 鉄道から発生する磁界の測定データというのは、鉄道各社が保有しているのではないか。

- 〔事務局〕 持っているのかもしれないが、公表されているものがない。
- 〔委員〕 日本で初めて公表するということになるのか。
- 〔事務局〕 数は少ないが、大学で測定している事例はある。
- 〔委員〕 電車の中で乗客がいるが、どのように測定しているのか。
- 〔事務局〕 できるだけ、人の少ない時間帯に測定をするなど工夫している。
- 〔委員〕 どういう結果を想定されているのか。
- 〔事務局〕 現在、測定を実施しているところであるが、ICNIRP ガイドラインより低い値となっている。ガイドラインと比べると低い値であるため、心配する必要はないという結果になると想定している。
- 〔委員〕 鉄道車両以外のホームなども測定しているのか。
- 〔事務局〕 これから測定する予定である。
- 〔委員〕 測定値については、ピーク値だけでなく、京都～品川間の平均値のようなものも示すことはできるのか。そちらの方が感覚的には分かり易い。
- 〔事務局〕 メッセージとして、どのような値を示すのか、例えばワーストケースと平均値というふうに、複数のデータを提示するなど、今後検討していく。

<ホームページの色覚多様性の確認>

- 〔委員〕 こういった、色覚多様性の確認をすることは非常に重要であると思う。
- 〔事務局〕 今後も取り組みを続けていきたい。

<SNS による情報提供>

- 〔委員〕 ユーチューブの広報についてはどのように行っているのか。
- 〔事務局〕 動画を投稿後、フェイスブックやツイッターに情報を投稿している。
ホームページにユーチューブのマークを掲載する予定だが、まだ許可が下りていないため、今後本数が増えて許可が得られれば掲載する。
- 〔委員〕 電磁界情報センターのホームページを見ても、ユーチューブのチャンネルがあることが分からない。
- 〔事務局〕 お知らせ欄に投稿したという情報が載っている。また、ホームページにリンクを貼っている。
- 〔委員〕 奥まったところにリンクがあり、場所が分かりにくい。
- 〔事務局〕 リンクの場所については、目に付きやすい易いよう今後工夫する。
- 〔委員〕 電磁波の問題については、色々噂話が流れることや、場合によってデモが発生することがある。同じような話は世界中であり、アメリカのデトロイト市には、噂のコントロールセンターという組織がある。アメリカは人種差別の噂が多く流れるのだが、貧困層に噂が流れるとデモなどが起こるため、それ

を防ぐために噂のコントロールセンターを設置している。非常にオープンマインドな組織で、嘘は絶対言わないという心情を貫いている。市にとって不利な情報でも、嘘だと否定せずに事実として言い切るという対応をしている。そうすると、市民の理解が進み、デトロイト市に対するリスク情報は極めて正確で、誰も反対することなく受け止めるようになったという事実がある。参考にすると役に立つと思う。

〔事務局〕 参考にさせていただく。

〔委 員〕 分かり易い表現を使うために、記事の作成などで AI を使っているということだが、同じ情報を入力しても AI 毎に答えに違いがある、間違った解釈をすることもあるため、チェックをして欲しい。

〔委 員〕 ユーチューブについては、しっかりと作成した動画と漫画的な若い人が気楽に見ることができるパターンと 2 つあっても良いと思う。

〔事務局〕 今後は一方的に説明する動画だけではなく、対話型の動画なども考えている

<磁界測定器貸出>

〔委 員〕 測定器貸出のアンケートで未回答というのがあるが、これについてどのように考えているか。気に入らなかったから、アンケートに何も記入しないということなのか。それとも、満足したから、アンケートに何も書かなかったということなのか。

〔事務局〕 測定後に満足した方と、引き続き心配とアンケートに書かれた方は、測定結果の記載欄に記入していることが多いが、未回答の方はその中間の方が多いのではないかと推測している。

<問い合わせ対応状況>

〔委 員〕 問い合わせ件数の中で、どういうメディアの情報が原因でその問い合わせをしてきたのか、例えば、新聞なのかテレビなのか SNS なのか本を読んでなのか確認した調査はあるか。

〔事務局〕 詳細な調査は実施していない。電話での問い合わせの中で、聞くことができた場合は残すようにしているが、役所や警察から紹介されて電話したとか、インターネットで見て電話したというような方がいる。

〔委 員〕 除草剤のグリホサートを販売している日産化学が、SNS で悪質な投稿をした人に対し損害賠償を求めて訴訟したら認められたという事例がある。画期的な判決だが、ほとんど報道されておらず、知らない人も多い。本人は専門家が言っていることをそのまま信じて書いてだけで責任はないと主張したものの、認められなかった。電磁波でも、「ガンになった」とか SNS で誹謗中傷す

る人達を訴えたというケースはないのか。

〔事務局〕 事例はないが、図書館では分類 498（公衆衛生、環境衛生）と絞り込みを行った上で、電磁波という用語が本のタイトルにある蔵書を検索すると、その中の 9 割が「〇〇が危ない」というような図書であり、信頼性が乏しい内容が記載されているが、その本を読んでこれを引用するということは十分あり得る。引用をすることは、表現の自由であると言われれば、どうにもならない。SNS については、我々は積極的に情報を取りにいけない。

〔委 員〕 一度、SNS でどういう状況になっているかを調べると興味深い。

〔事務局〕 例えば、ある時期、問い合わせが増えたため、調べると、実は SNS 上で変な情報があり、それを読んで問い合わせをしたという事例は過去にあった。

<電磁界情報データベース>

〔委 員〕 電磁界情報データベースを拝見すると、「乳児における高周波電磁界放射と神経発達影響の前向きコホート研究」というものが記載されていた。結論として、家の中に電子機器が多すぎるとか、レベルが高いと予想される子供はモニタリングする必要があるというものだが、これをどのように評価したらよいかかわからないが、このような論文の情報を積極的に発信していくということとは行わないのか。

〔事務局〕 電磁界情報センターとして、個々の論文をシステムティックレビューして情報提供するというようなことは控えている。論文の質にばらつきがあるため、とにかく査読付きの論文であれば、フィルターをかけずに研究データベースに登録している。ただし、国際機関の報告書については別途紹介している。

〔委 員〕 評価を行うことの難しさやそれが適切かどうかという問題があるが、データベースを提供しているということを、折に触れて紹介するのは良いのではないか。宝の持ち腐れにならないよう留意する必要がある。

<その他>

〔委 員〕 電磁界情報センターが磁界測定結果を原著論文として発表するというのは重要なことで、組織が信用されるという意味でも大事なことであるため、評価できる。一方で、情報環境がここにいる運営委員会メンバーの世代と少し下の世代で大きく異なるため適切に対応しないと若い人に伝わらない。そういうジレンマに陥るが、この組織の役割としてはレベルの高い信頼できる情報をできる限り分かりやすく提供するということにあるので、そこをしっかりと取り組んで欲しい。

〔事務局〕 承知しているが、実際問題なかなか難しい。ホームページをどういう媒体でアクセスしているのかと言えば、我々の年代はパソコンだが、若い人はスマ

ートフォンである。情報の出し方をスマートフォン向けに変えているのだが、長々と書いても読んでくれないし、逆に短くすると手抜きしていると言われてしまい、非常に悩ましい。

〔委 員〕 発想そのものが若い世代は違う。発想そのものが違う人とコミュニケーションをとることは非常に難しい。

〔事務局〕 病院で患者に説明する際に、田舎から出てこられた方などで、一生懸命説明していると「馬鹿にしているのか」と怒り出す人がある。問い合わせてくる方の年齢とか知識的なレベルとかそういった情報はないのか。

〔事務局〕 特にない。

〔委 員〕 健康影響が心配になり問い合わせてくる方のバックグラウンドはどういった形か。年齢的には高齢者が多いのか。

〔事務局〕 50代以降の人の方が心配しており、若い人はあまり気にしていない。

〔委 員〕 いよいよ年齢的に健康が心配になってきた方ということか。

〔事務局〕 加齢に伴って体調不良が起こり、原因を見つけようとして、これは電磁波だと考えてしまうのかもしれない。

〔委 員〕 知識的なレベルでは、よく使われる調査手法としては学歴があるがどうか。

〔事務局〕 必ずしも学歴とは関連しない。逆に、よく知れば知るほど、余計心配になってしまうことがあり、知識と認知度は乖離している場合があるため、なんとも言えない。

〔委 員〕 結局その人の性格によるのかもしれない。

〔事務局〕 先ほど、噂のコントロールセンターについて紹介いただいたが、日本にはファクトチェック・イニシアティブという組織があり、我々からこういう情報が出ているため、チェックしてくださいと依頼している。ただし、幸か不幸か、電磁波の健康影響に関するファクトチェックをしなければならないような新聞報道が近頃はなくなっている状況である。

〔委 員〕 そういうセンターは地味な仕事で、維持するのが大変だが、デトロイトの噂のコントロールセンターは行政がやっており、24時間オープンで、どんな小さなことでも受け付けるという仕組みとなっている。一般の組織では、とても耐えられないので、望むらくは電磁界情報センターでそれができれば良いが難しい。どこか公の組織がやってくると国民の安心感が増すのではないかと思う。

〔委 員〕 貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございます。

<次回開催予定>

次回開催の日程は、以下のとおりとする。

- ・ 2026 年 3 月 5 日（木） 15 時～17 時 （電磁界情報センター3 階会議室）

以 上